

ミセアイの群落化

— 納戸の活用による表現者育成機構 —

事前知識

植物と人の成長

植物は適度な刺激を受けることで、より大きく、強く成長する。これは人間の成長においても同じこと。

ナンドとは

一般住居における納戸は内側に居住者自身の個性や生き様が写し出される。ナンドとは外側にも写し出されるものとして扱う。



吹き抜けから見えるミセアイ

陳列間から見る劇場



全体図の一例

敷地外へのアプローチ
C型ナンドにより、敷地外を通る人々の建物への興味を高める。

敷地外を通る人々の建物への興味を高める。

路上での作業風景のミセアイ

住人の表現術

空間の役割

背景

制限される成長の芽

「誰もが自分自身の視野の限界を、世界の限界だと思い込んでいる」(アルトゥル・ショーペンハウアー)

コロナ禍において、他者とつながる機会が減った画家や演者とといった表現者は他者からの刺激を得られず、自身が経験した物事ではしか表現ができない。そして、オンライン化が進み作品がサムネイル的に展示されるがゆえに、作品を作る過程が誰にも見られることがなくなった。

提案

表現者の群落で守られる成長の芽

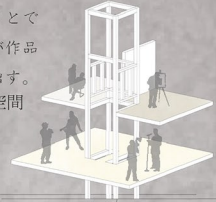
自身を見せ、他者に見せられる事で表現者は刺激をもらう。刺激は表現者の個性の芽を成長させる。本設計では表現者を群落にすることで芽の成長の機会を守り、来訪者が作品を鑑賞・体験できる空間を生み出す。

表現者

- 画家
- 音楽家
- 演者
- 作家
- 服飾デザイナー
- 陶芸家

鑑賞・体験空間

- 劇場
- 美術館
- 路上
- 多目的

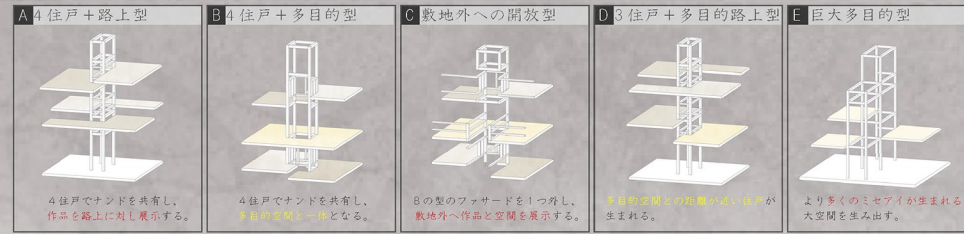


設計手法

ミセアイの場となるナンドのタイポロジー / 建築の素材づくり

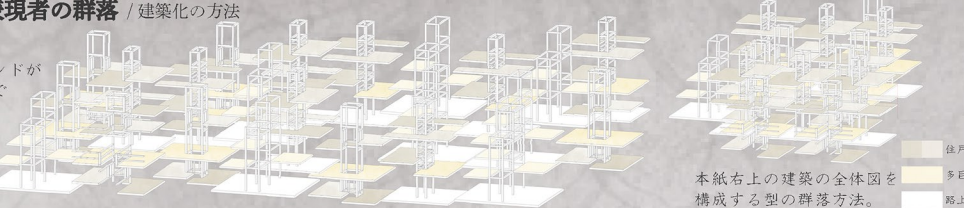
表現者が自身の作品を他者とミセアイするための空間としてナンドを採用した。多目的空間では他者と作業風景すらもミセアイできる。

これらの空間の絡み合い方をいくつか検討する。



ナンドの群落と表現者の群落 / 建築化の方法

上記の型を群集化する。住戸・多目的空間・ナンドが様々な床レベル・方向で絡み合うことにより、多様なミセアイの場を生み出し、刺激が多様化する。



本紙右上の建築の全体図を構成する型の群落方法。

建築化の例

住戸と多目的空間の平行配置



1F・2F 平面図 (S=1:500)



ナンドを通じた隣人とのミセアイ
A型のナンドにより、表現者同士でのミセアイが生じる。

ナンドの美術館の活用
B型のナンドにより、表現者の作品が外界に入る。

ナンドを通じた来訪者とのミセアイ
D型のナンドにより、表現者と来訪者でのミセアイが生じる。

ミセアイの多重連鎖
E型のナンドにより、数多くのミセアイが連鎖的に発生する。